

研究課題名 (研究番号)	RMP資材を用いた服薬指導とフォローアップ介入により処方提案に至った症例報告(2026-035)
当薬局の研究責任者	永峰 拓人(南アルプス薬局)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	<p>薬剤師の対人業務推進を目的として、2024年度調剤報酬改定では、特に安全性に関する説明が必要な医薬品の医薬品リスク管理計画に基づき作成された資料を用いた服薬指導を評価しています。RMP資材*を用いた介入により処方提案に至った症例を報告します。</p> <p>* :RMP資材(Risk Management Plan資材)は、医薬品の副作用リスクを最小化するため、承認前後の一環したリスク管理計画(RMP)に基づいて作成された、医療従事者や患者向けの補足的な資材</p>
調査データ 該当期間	2026年2月から2026年5月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま 上記期間内にRMP資材対象の薬剤が処方され、テレフォンフォローアップにより処方内容の変更提案を行うに至った患者さま ●利用する情報 処方内容、テレフォンフォローアップの聴取内容 等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	発表用資料の作成段階で匿名化を行います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム</p> <p>https://www.nicho.co.jp/inquiry/</p>
備考	研究期間:2026年6月30日まで